

## 麻生区区民会議 第1回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成22年11月5日（金）午後2時00分～午後4時15分
- 2 開催場所 麻生区役所第5会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]  
石井委員、植木委員、魚本委員、鴨志田委員、菅原委員、竹市委員、  
武濤委員、田中委員、土井委員、柳島委員  
[事務局]  
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里
- 4 傍聴者 1人
- 5 議 事
  - (1) 正副部会長の選出について
    - 【説明事項】
      - ・事務局より、地域交流・文化部会正副部会長の業務などを説明。
    - 【決定事項】
      - ・地域交流・文化部会の部会長＝竹市委員、副部会長＝植木委員に決定。
  - (2) 調査審議課題の選定等について
    - ア 調査審議課題の選定方法の決定
      - 【主な意見】
        - ・資料4-2にある、各委員からの提案課題について、それぞれ趣旨を説明してもらいながら、まずは4つのカテゴリーに仕分ける。
        - ・高齢者、子供、インフラなどテーマやターゲットを決めてから、具体的な調査審議課題を選定していく。
        - ・前期からの引継ぎ課題の取り扱いと、環境・緑化部会所属委員の提案課題については後から検討整理する。
    - イ 各委員から調査審議課題の趣旨説明とカテゴリー分け
    - ウ 調査審議課題の選定作業
      - 【主な意見】
        - ・区民会議の取り組みを、区民に浸透させ、一緒に活動してもらう必要がある。
        - ・取り組みの担い手の確保と具体的な手順や行程の提示が必要となってくる。
        - ・結果を残すためには、活動の受け皿、関心の高いテーマ設定、結果を明確に表せるものの選択が必要である。
        - ・人材育成は大事なことだが年月をかけて徐々に醸成していくものであり、具体的な活動を進める中で改善しながら地域で支えあうコミュニティシステムを作っていけ

ばよいのではないか。

- ・成果をどこの到達点にどのように挙げていくかを考える必要がある。
- ・活動の担い手づくりを、生涯教育的な取り組みとして区も行ってほしい。
- ・いくつかの課題は、地域で支えあうコミュニティシステムづくりに集約され、これがひとつの大きな柱となるのではないか。
- ・目に見える課題を達成していくことでコミュニティシステムのレベルを上げていくこともできる。
- ・審議課題の骨格については、まず「地域で支えあうコミュニティシステム」づくりが大テーマとしてあり、その下に幹（サブシステム）となる部分がいくつか連なってくる形が考えられる。
- ・具体的に、幹となる部分については、学童の世話や買物難民の世話といったものや、高齢者の問題、子育ての問題など考えられる。

#### 【確認事項】

- ・「地域で支えあうコミュニティシステムづくり」を共通の大テーマとする。但し、本部会は「地域交流・文化部会」であるので、文化・芸術分野については時期ごとのイベントに関わっていくとしても、地域交流1本の柱立てとすると部会名と内容が合致しない点、未整理である。
- ・すでに市などで実施している事業の現状を調査する際、テーマ決め等の資料収集や、実際に委員が現地調査をする際の関係機関への協力依頼は、事務局で行う。
- ・大テーマの下の幹の部分の整理、いくつかのキーワードの整理については、事務局で行い、正副部会長と諮って、次回、課題の再整理用の資料として提出する。

### (3) その他

#### ア 次回の部会開催について

- ・平成22年11月30日（火）午前10時から、区役所会議室にて開催。